

一般社団法人日本小児血液・がん学会
2017年度定時社員総会議事録

1. 日 時：2017年6月18日（日） 10時00分から12時00分まで
2. 場 所：聖路加国際大学 アリスホール
3. 出席者：社員（評議員）総数 284名 この議決権数 284個
出席社員（評議員） 263名（委任状を含む） この議決権数 263個
4. 議 長：檜山英三
5. 定足数

以上のとおり定足数に達したので、定款の規定により理事長檜山英三は議長席に着き、開会を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 議事録署名人の選任の件

議長は、議事録署名人について、本日出席の井田孔明評議員と佐野秀樹評議員の2名を指名し、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

第2号議案 平成28年度事業報告の件

議長は、平成28年度事業報告について詳細に説明し、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

第3号議案 平成28年度収支決算の件

議長は、庶務・財務委員会真部 淳委員長に報告を依頼し、真部委員長より平成28年度収支決算が示され、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

第4号議案 評議員選出の件

議長は、評議員等資格審査委員会木下義晶委員長に報告を依頼し、木下委員長より、20名より申請があり、全員が申請資格を充足している旨の報告があり、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第5号議案 名誉会員推戴の件

議長より、名誉会員について、理事会より6名の推戴案が示され、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第6号議案 定款改正の件

議長は、規約委員会副島俊典委員長に報告を依頼し、副島委員長より定款改正案が示され、その承認を全員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

（報告事項）

1. 平成29年度事業計画の件

議長より平成29年度事業計画について報告がなされた。

2. 平成 29 年度収支予算の件

議長は、庶務・財務委員会真部 淳委員長に報告を依頼し、真部委員長より平成 29 年度収支予算について報告がなされた。

3. 庶務報告の件

議長は、庶務・財務委員会真部 淳委員長に報告を依頼し、真部委員長より庶務報告がなされた。

4. 委員会活動状況報告

各委員会委員長より、委員会活動状況について、資料をもとに、以下の報告がなされた。

<規約委員会>

- ・選挙の手順を変更した。
- ・各委員会で作成された委員会規程について定款・定款施行細則との整合性を諮り、修正した。

<倫理委員会>

- ・学術集会発表内容に関する倫理的問題対応を検討した。

<利益相反委員会>

- ・役員・委員・学術集会発表者の利益相反申告管理を行った。

<学術集会プログラム委員会>

- ・第 58 回学術集会優秀ポスター賞受賞者が報告された。

<学会誌編集委員会>

- ・学会誌発行状況が報告された。投稿規程及び査読票を改訂した。

<診療ガイドライン委員会>

- ・小児がん診療ガイドライン改訂版（2016 年版）を発刊した。
- ・小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン、小児がん診療ガイドラインの転載許諾に対する審議、対応を行った。

<研究審査委員会>

- ・研究審査委員会審査状況が報告された。

<学術・調査委員会>

- ・日本小児血液・がん学会、日本小児外科学会、小児がん全国登録の疾患登録システムを統合することについて検討した。
- ・疾患登録を単年度集計へと変更した。

<疾患委員会>

- ・各疾患小委員会活動状況が報告された。
- ・各疾患小委員会委員を公募している。

<看護委員会>

- ・第 59 回学術集会におけるパネルディスカッションを企画。
- ・小児がん看護学会との連携のもと、小児がんに関わる看護師に対する教育研修プログラムを検討。

<教育・研修委員会>

- ・小児血液・がんセミナー開催状況が報告された。厚生労働省委託事業ではなくなったため、予算を縮小して開催する。

・緩和ケア研修会（CLIC）を継続開催するため、緩和ケア研修実行ワーキンググループを立ち上げた。今年も開催予定である。

<専門医制度委員会>

- ・各種認定状況が報告された。
- ・小児血液・がん専門医研修施設の現況調査を実施した。

<社会・広報委員会>

- ・ホームページをリニューアルした。

<保険診療委員会>

- ・H30年度診療報酬改訂に向けた提案書を提出した。
- ・NUDT15 遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用について、厚生労働省へ要望書を提出した。

<国際委員会>

・第59回学術集会でのアジア交流セッションおよびKSPHO/JSPHO Joint Symposium について検討した。

- ・第59回学術集会英文抄録を *Pediatric Blood and Cancer* に掲載することを決定した。
- ・SIOP 2018 in Kyoto に向けて、国内委員会を組織し、準備を進めている。

<学会あり方委員会>

- ・ゲノム医療推進ワーキンググループを立ち上げた。

<長期フォローアップ・移行期医療委員会>

- ・厚生労働省委託事業として、研修会開催を計画している。

<緩和ケア研修会実施報告>

- ・5年間で計525名が研修会を受講した。

5. 第59回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、石井榮一次期会長に報告を依頼し、石井次期会長より第59回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会場：ひめぎんホール（愛媛県民文化会館）（愛媛県松山市道後町2丁目5-1）
- ・会期：2017年11月9日（木）～11月11日（土）
- ・川井郁子氏によるヴァイオリンコンサートを予定している。
- ・アグネス・チャン氏による公開講演を予定している。
- ・「チャリティサイクリング in しまなみ」を計画している。

6. 第60回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、細井 創次々期会長に報告を依頼し、細井次々期会長より第60回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2018年11月14日（水）～16日（金）
- ・会場：ロームシアター京都及び京都市勧業館みやこめっせ（京都市左京区）
- ・テーマ：Children First 難病の子どもたちが教えてくれる未来の医療、未来の社会
- ・SIOP 2018 in Kyoto と連携して開催する。

7. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長より、第61回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2019年11月14日（木）～16日（土）
- ・会場：広島

議長は、以上をもって一般社団法人 日本小児血液・がん学会の定時社員総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。